

## 学術研究の不正行為の防止のための剽窃チェックオンラインツールの導入について

山口大学では、学術研究活動における研究者の使命と目標を明確にし、その責務を果たしていく決意を込めて、「山口大学研究者倫理綱領」を制定するとともに、学術研究に係る不正行為の防止のために必要な事項を定めています。また、研究規範の向上および不正行為の防止等に関し、法人全体を統括する権限と責任を有する統括責任者（学術研究担当副学長）を設置しています。

学術研究の不正行為とは、研究の立案・計画・経費支援申請・実施・成果の取りまとめの過程において行われるデータその他研究結果の捏造、改ざん、盗用並びに二重投稿や不適切なオーサーシップを行うことです。これに違反した場合の社会からの信頼の失墜とイメージダウンの大きさは計り知れないものがあります。

そこで、研究論文等の剽窃・盗用等の不正行為への防止対策を行うため、令和2年度より剽窃チェックオンラインツール「iThenticate」を導入することとなりました。

執筆した論文を当該ツールに読み込ませることで、主要学会誌掲載論文等のデータベースと照合し、発表済みの論文との類似部分がレポートされますので、悪意の有無に関わらず剽窃・盗用と誤解を招く可能性のある箇所を事前に把握することができます。また事前に剽窃チェックを行うことを条件としている学会誌等への投稿も可能となりますので、研究者の方は、ぜひご利用下さい。

### iThenticateとは

- iThenticateとは自身の研究成果や著作物の内容を、既存の公開情報（学術フルテキストデータベース）と照合し、独自性を検証するオンラインツールです。
- 詳細は、以下URLをご参照ください。

<https://help.turnitin.com/ithenticate/ithenticate-home.htm>

対象者	本学の常勤教員・研究者
利用可能期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
目的	剽窃チェックオンラインツールを導入することにより、研究論文の剽窃・盗用等の不正行為を未然に防ぐため。
ユーザー登録	研究推進課で対象者を登録いたします。
利用可能文書数	無制限/年間（大学全体）
利用対象文献	対外的な論文及び院生に関わる修士論文・博士論文等
URL	iThenticate ログインページ <a href="https://app.ithenticate.com/ja/login">https://app.ithenticate.com/ja/login</a> ※大学メールアドレスと、その後「noreply@ithenticate.com」から届いた仮パスワードを入力してログインしてください。 詳しくはユーザーマニュアルをご覧ください。
マニュアル	<a href="#">iThenticateユーザーマニュアル(PDFファイル)</a> <a href="https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~ken-san/rinri/check/Manual.pdf">https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~ken-san/rinri/check/Manual.pdf</a> <a href="#">iThenticate User Online Guide</a> <a href="https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~ken-san/rinri/check/Guide.pdf">https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~ken-san/rinri/check/Guide.pdf</a>
エンドユーザー規約	エンドユーザーライセンス
注意事項	<ul style="list-style-type: none"><li>● チェックのためアップロードされた論文は、Turnitin社に保存され、サービスの提供、向上のために使用されます。論文に示されているアイデアは使用しないとされていますが、発表前の論文が海外のサーバに保存されるシステムであるということを理解したうえで利用してください。</li><li>● 大学院生についても、その論文等について、積極的にシステムを活用してください。運用上、大学院生本人のシステム登録は行わないため、<b>各指導教員</b>においてチェックをお願いします。</li><li>● 投稿時に本ツールのチェック結果を求められている場合等を除き、個人情報に記載された論文は匿名化するなどの措置を行ってアップロードしてください。</li><li>● 共著者がある場合は、共著者の許可を得てアップロードしてください。</li><li>● 本サービスを利用した結果について、Turnitin社は一切の責任を負わないこととなっていることを十分に理解したうえで利用してください。</li><li>● 管理者として剽窃チェックした内容を確認する場合があります。</li><li>● 剽窃チェックを行う論文と申込者の相関関係が不明な場合は、問い合わせを行うことがあります。</li><li>● 利用は本学における教育研究活動上の論文等に限りです。</li><li>● 退職等で、対象者でなくなる場合は利用できません。</li><li>● 画像データ等の文字以外の内容は、比較・検知できません。</li><li>● 判定の結果、既出の論文等と類似性が高いことが必ずしも剽窃・盗用であるとは限りません。判定結果については必ず内容を確認し、あくまでも判定を補助するための参考ツールとしてご利用ください。</li><li>● 今後の運用・継続等の検討のため、利用頻度・活用状況・利便性等に係るアンケート等を実施する場合がありますので、その際はご協力方よろしくをお願いします。</li></ul>
お問い合わせ	研究推進課 研究助成係（内線：5954）